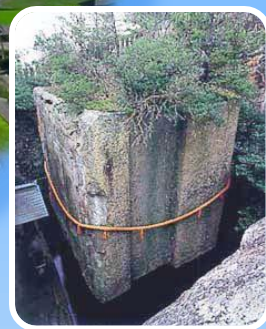


流域文化サロン

～語り、つなぐ、ふるさとの水辺～



- ☆ 7月から開催（詳しい日時は裏面を参照してください）
- ☆ 兵庫県加古川総合庁舎内「たぱす」等で開催
- ☆ 参加費は無料（フィールドワークはバス代等の実費負担あり）

流域文化サロンは、東播磨流域文化協議会が掲げる「地域づくりの推進」を達成するため、平成22年7月から「ため池保全」、「水辺環境」等に関するテーマを中心に講演と交流会を組み合わせる形で開催し、新たなネットワーク構築、地域づくりの更なる展開を推進しています。

本年度は、「加古川流域の歴史・文化」、「地域の文化遺産」や「豊かな水辺環境の保全」等をテーマとして「流域文化サロン」を開催し、豊かな水辺空間、歴史、生活、文化等の地域資源を活かした地域づくりを進めます。

ナビゲーター：池本 廣希 氏（兵庫大学教授、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会副会長）

主催：東播磨流域文化協議会

共催：いなみ野ため池ミュージアム運営協議会



東播磨流域文化協議会

お問い合わせ

東播磨流域文化協議会事務局
（東播磨県民局水辺地域づくり課）

加古川市加古川町寺家町天神木97-1

TEL：079-421-9026 FAX：079-424-6616



いなみ野ため池ミュージアム10周年

サロ ン 開 催 予 定

	月 日	場 所	テ ー マ
第 1 回	7月29日 (日) 13:30~16:30	イオン明石	次代につなぐ「循環する水の路」Part I ~里山・池・川・里海~ ・小学校（明石市）児童の発表会 魚住・高丘東・大観・谷八木小学校 4 年生 ・メダカのコタロー劇団公演 ・いなみ野水族園開園
第 2 回	8月26日 (日) 13:30~16:30	兵庫県立 考古博物館	加古川流域の中世を考える ~平清盛といなみ野台地~ ・基調講演 兵庫大学准教授 金子 哲 ・源平ゆかりの地PR（東播磨：両馬川旧跡、那須与一石仏 北播磨：国宝浄土寺、三草山古戦場跡） ・考古博物館内見学（学芸員による説明）
第 3 回	11月10日 (土)	兵庫大学 寺田池	食の伝統文化、安全安心について考える ・基調講演（食の安全安心、県産県消について） ・兵庫県認証食品PR・伝統文化実演（かまどご飯）
第 4 回	12月24日 (月祝) 13:30~16:30	兵庫県加古川 総合庁舎	次代につなぐ「循環する水の路」Part II ~里山・池・川・里海~ ・小学校（東播磨・北播磨）児童の発表会 ・メダカのコタロー劇団公演
第 5 回	2月 13:30~16:30	兵庫県加古川 総合庁舎	ため池保全と地域づくり（仮称） ・農地・水・環境保全向上活動報告会
第 6 回	3月 13:30~16:30	兵庫県立 考古博物館	加古川流域の古代文化フォーラム ・基調講演 考古博物館館長 石野 博信 ・考古博物館内容見学
フィールド ワーク	秋	未定	未定

ナビゲーター

兵庫大学
経済情報学部教授

池本 廣希



千歯ごき発案者の末裔。大学院生の頃、テントを担いで全国の有機農業の実践家を訪ね歩いた。目下、兵庫大学・ため池研究所長を兼ね、ため池を中心とした地域問題、米問題、環境問題、食の安全・安心の問題等にかかわる。

東播磨流域文化協議会 会長

樽本 庄一（加古川市長）

県内最大の河川である加古川をはじめ、ため池・海岸など、豊かな水辺空間に目を向けながら、地域の自然、歴史、文化を語り、交流し合う「流域文化サロン」を今年も企画しました。

「21世紀は水の世紀」とも言われます。流域文化を語り合い、新しい時代を先導していこうではありませんか。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



いなみ野ため池ミュージアム運営協議会 会長

作家 玉岡 かおる

米作こそが人生であった我々の先祖は、天の神々に愛されたこの地に感謝しつつ、「水」の確保への努力を積み重ねてきました。ため池をはじめ、播磨の水辺空間には、人々のひたむきな努力と英知の物語が込められています。私たちも、地域づくりを考えていこうではありませんか。ふるさと、播磨の未来を語り合う流域文化サロン。私も楽しみにしています。

